



憲法が輝く 兵庫県政を つくる会

TEL 078-512-1571
FAX 078-512-1575

Eメール : info@kenpo-kensei.com
キャンペーンサイト : www.tsugawatomohisa.com
Twitter・HP : 「兵庫・憲法県政の会」
Twitter : 「津川ともひさ@7月兵庫県を変える！」
Facebook : 「津川ともひさ」 【部内資料】

全県結集！ 6月11日(日) 三宮・元町大宣伝行動

12時～12時40分

三宮マルイ前

「医療を守れ総行動」

宣伝後大丸前までパレード

12時～13時20分

元町大丸前

【主な弁士】

津川ともひさ代表幹事

住江憲勇 全国保団連会長

藤末衛 全日本民医連会長

全県一斉宣伝で津川旋 風を！

6月6日(火) 7時～9時 (1時間)

6月13日(火) 17時～19時 (1時間)

知事選挙投票日まで1ヵ月となりました。

会報No.4の全県的な配布によって、連日のように事務所への激励電話がかかるなど、津川代表幹事の訴える「人と地域を守る県政」転換、憲法施行70年の年・憲法が輝く兵庫県政実現への共感が広がっています。

告示日まで、すべての加入団体、地域の会が、県民に直接支持を呼びかける対話・支持拡大運動を一気に飛躍させ、大きな運動の高まりの中で6月15日を迎えましょう。

内田樹さんが推薦人に



津川代表幹事は24日、神戸女学院大学名誉教授の内田樹さんと懇談しました。内田さんは要請に応え、津川さんを推薦することを表明されました。

(うちだたつる) 神戸女学院大学名誉教授。思想家・武道家、多田塾甲南合気会師範。著書『日本辺境論』が大ベストセラー。武道と哲学のための学塾「凱風館」主宰。

宗教者とともに宣伝



全国宗教者平和協議会の荒川理事長(真宗大谷派住職)、キリスト教牧師など10数人が、「安倍政権の戦争する国づくりを許さないためにも、地方から安倍政治ノーの声を、津川さんの勝利を」と訴え。

津川代表幹事は5月23日午後、神戸元町大丸前で、全国の宗教者の支援を受けて街頭演説をしました。

全労連 小田川議長 2度目の支援



5月30日、全労連の小田川義和議長が2度目の応援に来神。神戸市内7カ所まで訴えて頂きました。小田川議長は「戦争法」に加えた改憲策動こそ、安倍政治の国政私物化の狙いであると喝破。憲法を守る地方政治が求められていると強調しました。

広がる支援に、「県政転換」の確信を持ち
告示日まで、宣伝・対話活動の大波を

ミニリーフ・ワンコイン袋を 使ってこれまでの枠を打ち破る 対話活動を

知事選挙は、立候補表明が4人の情勢ですが、憲法にもとづく「人と地域を守る県政」に切り替える政策を持っているのは津川ともひささんだけです。今、求められているのは、全有権者規模の対話運動に、加入団体・地域の会の全会員がサポーターとなつて、これまでの枠を打ち破る対話活動です。そのために「憲法県政の会」は、ミニ

リーフを115万枚、袋を30万作成し、各団体、地域の会におろしています。各団体の構成員に1人10セット・20セットと届け、知人、友人に渡して対話する活動を展開しましょう。また、袋に記入されたメッセージは、県民の貴重な声を要求です。コピーして県政の会事務所にFAXしてください。(FAX 078-512-1575)



告示までが勝負、対話・宣伝に全力を すべての地域の会が地域に打って出よう

関心高めようと声かけ宣伝（垂水区の会）

垂水の会は27日、学習を兼ねた決起集会を開催し、民商、新婦人、年金者組合、共産党など各分野から一人と地域を守る県政への転換、憲法施行70年の年・憲法が輝く兵庫県政の実現への熱い訴えが相次ぎました。

28日の夕方宣伝では「がんばって」の激励を受けるなど会報の受け取りもよく、「大企業の補助金よりも保育所をつくりましょう」などの声をかけることで知事選挙への関心を高めようと工夫しています。

市内4コースで自動車パレード（伊丹の会）

伊丹の会は6月10日、市内4コースで自動車パレードを行い、「津川ともひさ」の風を一緒に吹かせる計画です。宣伝テープを流すとともに、24カ所でスポット宣伝では、スカーフ、のぼり、ポスターなどオレンジカラーを前面に会報も配布します。

また、伊丹の会の提起を受け、新婦人伊丹支部は22日宣伝カーを運行、26日には津川ともひさ代表幹事とともに11人が参加して阪急伊丹駅前で行った行動に取り組みました。

決起集会に向け24カ所スポンサー（灘区の会）

灘区の会は26日夜の決起集会に向け、当日午前10時から午後4時まで区内ロングランラリーに取り組み24カ所でスポット宣伝を行いました。

熱気ある決起集会をバネに、2日の幹事会で全県一斉宣伝、対話運動の強化などを具体化します。

連続駅頭宣伝第2ラウンド（明石の会）

明石の会は22日から26日まで、第2ラウンドの連続駅頭宣伝に取り組み約70人が参加。

27日の必勝演説会には30人が参加し、田中耕太郎代

表幹事、青年、子育てママ、年金者、働く女性、元小学校教師、元高校教師など、多彩な弁士が津川必勝を訴えました。

「緊急連絡」出して活動強化（兵庫区の会）

兵庫区の会は「緊急連絡」を発し、「県政の会」の方針を伝えながら、区の会としての方針を明らかにしました。大宣伝・大対話運動を推進しています。世話人会を定例開催し、5月25日、6月1日、8日と当面毎週木曜日ごとの独自の大宣伝を遂行します。

また、得票目標を2万3千に設定し、告示日までに、前回得票の1万4千人に、電話も含めて声をかけきこうと呼

加入団体が活動強化し、 地域組織の総決起を促そう

「県政紙芝居」で対話推進（新婦人の会）

新日本婦人の会は推薦決議運動を強め、現在18支部88班95小組から合わせて202枚の推薦状が事務所に寄せられています。

対話目標は読者×25人で、運動推進のため「県政紙芝居」を使った「県政カフェ」を全班・小組で取り組もうと呼びかけています。

びかけています。こうした目標をやりきるためにも、「ワンコイン袋」「ミニリーフ」を渡して「要求メッセージ」を書いてもらい、募金を訴えるという「サポーターづくり」の行動も大胆に提起しています。

参加者の熱気あふれる決起集会（西宮の会）

29日の西宮の決起集会は、70人をこえる参加者で、会場は熱気にあふれました。

津川さんは、県下をまわって「地域が壊されている」とへの怒りを県民と共有して勝利すると訴えました。磯見県会議員が県政報告し、年金者組合・新婦人・民商から決意表明。団結ガンバロー三唱で決意をかためました。



各分野の活動

○民医連・保険医協会は6月11日を医療デーと位置づけ、神戸三宮に大集結して宣伝後、元町・大丸前の行動に合流します（一面参照）。

○兵庫労連は、6月4日近畿ブロックからの参加を得て大宣伝行動です。

○兵商連は、6月7日全商連の太田会長を迎え、宣伝と決起集会を予定しています。

えー、そんなことを言ってるの！

津川さんと現職以外に2人が立候補を表明していますが...

TVに出ていたコラムニストは＝最近の本で、平和憲法は「根拠なき楽観」「妄想的平和主義」と述べ、9条を大切にしている人を「九条バカ」と呼んでいます。また、日本国憲法は「国民に役に立たない」「占領軍のおねえちゃんで一週間」でつくったとして「日本国憲法の廃止」を求め、「日本人だったら教育勅語と五箇条の御誓文と、帝国憲法は

知らなさやダメ」と戦前・戦時の考え方を賛美しています。

元加西市長は＝当時「独断専行」や「不正人事」を批判され不信任、落選の経歴。その後、全国各地で選挙にでるもすべて落選。「自治体の業務」を「民間丸投げ」が持論です。では、地方自治は住民のためには何をやるのでしょうか？

会報で広がる津川さんへの共感

○「自分も平和大事だと思う」

「会報を見たが『非核神戸』方式って何か」「核兵器をつんだ外国艦船が神戸港に入ることを許さない制度です」

「自分も平和は大事だと思っている。がんばって」

○「全戸配布手伝いたい」

「津川さんの活動を知った。会報の配布を手伝いたい」

○「自分も原発再稼働反対の行動に参加した」

「この人は、現知事に対抗する人か」「そうです。例えば今の知事は『（原発再稼働反対を）私に迫られても手のうちようがない』という人です」「自分も11日に原発再稼働反対の行動に参加した。応援する」